

あそび方

① グループを作る

プレイヤーは3つ以上のグループ(1グループ1~3人程度)に分かれます。そこからジャッジ役として1グループを選びます。

② カードを配る(ジャッジ役以外)

ジャッジ役以外のグループにアイテムカード(解決、ひと、場所)を各2枚ずつ、アクションカードを1枚、計7枚配ります。



解決カード
2枚



ひとカード
2枚



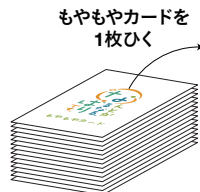
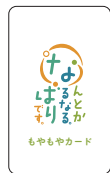
場所カード
2枚



アクションカード
1枚

③ もやもやカードの山札をよく切って、1枚めくる

ジャッジ役以外のグループにアイテムカード(解決、ひと、場所)を各2枚ずつ、アクションカードを1枚、計7枚配ります。



④ ストーリーを考える(3分)

もやもやカードの内容を見て、手札のカードをできるだけたくさん組み合わせて、「もやもやを解決するストーリー」をグループで考えます。(3分)手札のカードは1枚のみ同じ種類のアイテムカードの山札からチェンジできます。

(例:解決カードの場合、解決カードの山札からチェンジできる)

⑤ ストーリーを発表する

ストーリーができたら「なばばばーん!!」と大きな声で叫びます。全てのグループでストーリーが完成したら、グループごとに発表します。

⑥ ジャッジする

ジャッジ役は、「地域のもやもやがより解決できそう」と思ったグループを選びます。選ぶとき、ジャッジ役はそのグループに向かって「なんとかなるなる!」と言いながら親指を立てます。

⑦ 得点

選ばれたグループは、ストーリーで使ったカードの枚数が得点になります(枚数を記録しておきます)。

⑧ 次のゲームへ

使った手札カードは各アイテムカードの山に戻しよく切ります。まだジャッジ役をしていないグループから次のジャッジ役を決め、②~⑦を全3ゲームします。3回を1セットとして2セット行います。合計得点の高いグループの勝ちです。

